育てよう 鏡野のよい子シリーズ

「黙々と」

「暑い日に　黙って　黙々と草抜きを　している人がいる　汗をかきながら　ほうきを　こまめに動かしている人がいる　その人はただ　草を　抜いているのじゃないその人は　ただ　ちりを　集めているのじゃない　身も凍る日に　かじかむ手で　雑巾を絞っている人がいる　隅から隅まで　ていねいに拭いている人がいる　その人は　ただ　いてつく手で　ぞうきんを　絞っているのじゃない　その人は　ただふいているのじゃない　誰が見ていようと　誰も　見ていなくても　彼は　変わらぬ心を　つくっているのだ　彼が抜いているのは　弱い心にすぐ生えてくる　怠け心の　雑草なのだ　彼が掃いているのは　すぐに散らばる　諦めという　ちりなのだ　彼は　自分自身を　掃除している　彼が　絞っているのは　気持ちの　緩みなのだ　彼が拭き取っているのは　今日一日の　心のくもり　明日への　輝きを映すために　磨いているんだ　彼はただ　掃除をしている　彼は　黙々と　掃除ができる人に　なるために」

これは以前勤めていた学校の先輩の先生より教えていただいた言葉です。これを読んだとき、自分を振り返ることができるチャンスをもらいました。皆さんはどう感じましたか?

鏡野中学校では教室の雑巾がけがあります。雑巾を絞り、端から端へと駆け抜けます。その何回か往復する様子はほほえましく、また気持ちよさを感じ、この言葉を思い出しました。「掃除の時間の分担」ということもあるかも知れません。単純なことかも知れませんが、雑に扱うのではなく、ていねいに扱うとその姿勢は、後できっと生きてきます。「黙々とする」＝自分を見つめたり、磨いたりするチャンスにつながっていくと思います。みなさんも、「ただ、黙々と掃除をしてみませんか」「ただ、黙々と○○してみませんか」

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
鏡野中学校　原田　修輔

のびのびひろば

わっしょい!わっしょい! お祭りごっこ

本物の獅子舞ってちょっぴり怖いけど…かっこいい!!

噛みの舞

今年も古川神社の獅子舞保存会の方が園に獅子舞を奉納してくださいました。本物の獅子舞を見た子ども達は、嬉しさ半分、怖さ半分。“噛みの舞”では子ども達の成長を願ってお獅子に頭を噛んでもらいました。

10月24日にはお祭り日和の中、手作りのお神輿とだんじりで園周辺を練り歩きました。地域の施設を訪問し、お神輿で練る様子や獅子舞の様子を見ていただき、おじいちゃん、おばあちゃんにたくさんの拍手をいただきました。

地域に伝わる伝統行事を地域の皆さんと一緒に楽しめたお祭りごっこになりました。

ソーヤレ! ドンドンドン♪

『わっしょい!わっしょい!』と大きな掛け声で練り歩きました。

『一本橋こ〜ちょこちょ♪』ふれあい遊び楽しかったね!

輪投げ屋さん
『輪投げは1人4つです!』
『上手い、上手い!その調子!!』

鳥居の前で
『ハイ、ポーズ!』

こども獅子舞奉納
おじいちゃん・おばあちゃんがとっても喜んでくれたよ!

（芳野こども園）